

協力と発展



目次

1	会長メッセージ
5	2023年の財務実績の概要
6	昨年を振り返り
10	私たちのコミュニティ
16	私たちの行員
20	顧客プロフィール
26	2023年財務報告
28	株価の相対的パフォーマンス
30	エグゼクティブコミッティおよび オペレーティングコミッティ
32	取締役会
33	株主情報

表紙

協力と発展：ハワイ人女性によるアウトリガー・カヌーのチームが力を合わせてハワイ島のコナ海岸を疾走しています。バンク・オブ・ハワイでも、行員一人ひとりが共通の目標に向かって努力しています。そうした行員の力により、私たちは特別な存在であり続けています。私たちは力を合わせて発展しています。どんなに困難な時期であっても、組織一体となって地域社会に貢献してまいります。

© 2024年、バンク・オブ・ハワイ・コーポレーション。Bank of Hawaii®はバンク・オブ・ハワイの登録商標です。Bankoh®およびSimpliFi Mortgage®はバンク・オブ・ハワイの登録サービスマークです。Bank of HawaiiのロゴおよびBank of Hawaiiはバンク・オブ・ハワイの登録商標です。Bankoh Investment Services, Inc.はバンク・オブ・ハワイのノンバンク子会社で、米金融取引業規制機構 (FINRA) および米証券投資者保護公社 (SIPC) の会員です。Zelle®は、Early Warning Services, LLCの登録サービスマークです。本報告書 (印刷物およびオンライン) に記載されているその他すべての商標およびサービスマークはそれぞれの所有者に帰属し、本報告書で使用することにより所有権を主張するものではありません。個人や本報告書に記載するその他の事業、商標、ロゴ、ブランドまたはその他の名称もしくは由来の所有者は、本出版物を後援、承認、支持しておりません。



株主の皆様、

バンク・オブ・ハワイの役割は、コミュニティバンクとして皆様のご家庭や企業の目標達成を支援し、信頼できるパートナーとして寄り添いながら、皆様がお困りのときには力となることにあります。

2023年を振り返ると、当行の行員たちは、当行をご信頼くださるお客様のお手伝いをする以上のことを成し遂げてくれました。私はそれを誇りに思っています。

災害救援活動

私たちの地域社会は2023年の夏に2つの自然災害に見舞われました。5月24日には超大型台風「マワール」がグアムに上陸し、洪水などの甚大な被害をもたらしました。また、8月8日にはマウイ島西部の都市ラハイナが山火事により壊滅的な被害を受けました。これはハワイ史上最悪の自然災害となりました。幸いにして当行の行員は全員無事でしたが、互いの距離が近い島内のコミュニティで生活や仕事を行っている私たち行員は誰が直接被害を受けたのか分かっています。この悲惨な事態の発生を受けて、当行の行員は困っている人々の支援をお手伝いしました。無私の心で復旧活動を支援する彼らの姿に私は感動しました。

ラハイナ支店はこの山火事で消失しましたが、マウイ島にいる当行従業員が近隣のカハナ支店とキヘイ支店から集まり、お客様を支援しました。そうした活動について、詳しくはこの年次報告書に記載していますが、ここではそのハイライトをいくつかご紹介いたします。

- 当行従業員の中には、自らも被害を受けながらお客様の支援に努めてきた行員がいます。2023年には、そうした行員のメンタルヘルスや経済状況の支援を特に重視し、緊急融資、精神衛生のリソース提供、仮住居探しの支援などの形で緊急支援を実施しました。当行はそうした行員の支援を継続し、さまざまなニーズへの対応に努めています。
- 当行は、皆様に欠かせない金融サービスをご提供するだけでなく、バンク・オブ・ハワイ財団を通じて、緊急復旧活動や長期的な復興支援に取り組んでいる地域的非営利団体に約16万ドルの助成金を提供いたしました。
- 私たちの従業員ボランティア「バンコー・ブルー・クルー」は、ハワイ・コミュニティ財団、グッドウィル・ハワイおよびハワイ先住民促進委員会（CNHA）の各団体に対する支援を実施しました。約150名のボランティアが1,233時間を提供し、支援物資の仕分けと保管、および世界中から寄せられた寄付金の処理をお手伝いいたしました。

財務面での強み

バンク・オブ・ハワイは、125年の歴史の中で、お客様との関係を一つ一つ構築してきました。私たちはお客様が当行に信頼をお寄せくださることに感謝しています。2023年3月に始まった地方銀行の動揺は、米国経済全体に不透明な状況をもたらしましたが、ハワイ市場はその影響をほとんど受けませんでした。しかし、米国では銀行を見る目が厳しさを増しており、当行においても、個人や企業のお客様に積極的に働きかけ、当行の強みや価値を改めて知っていただくとともに、あらゆる疑問にお答えしながら、当行の優れた点をお伝えしていくことが重要であると考えています。当行のお客様は、当行からご挨拶のお電話をおかけした際にも温かく受け入れていただいております。当行が信頼できるアドバイザーであるとお考えいただいているものと自負しております。

バンク・オブ・ハワイは2023年において堅調な財務成績を達成しました。この実績は多用性に富んだ優良で安定した預金基盤、潤沢な流動性、および高い信用力を反映したものです。2023年度の希薄化後1株当たり利益は、2022年度の5.48ドルに対して4.14ドルでした。

2023年度の当期純利益は1億7,120万ドルで、前年比24.2%減少しました。費用については全体としてほぼ予想の範囲内でした。第4四半期の業績は、FDICが50億ドル超の無保険預金を有する全銀行に対して同年の損失を回収できるかどうかについての特別審査を実施したことによる影響を受けました。

年末現在の預金総額は211億ドルとなり、2022年から2.1%増加しました。これはコア・リレーションシップ預金の増加によるものです。これらのリレーションシップの年月は、当行が長年にわたりお客様との関係を構築してきた結果です。当行の預金残高の53%は関係の年月が20年以上であり、75%が10年以上となっています。

また、コア市場向け融資も順調に伸び、自己資本は引き続き規制上の最低水準を上回りました。

ハワイ経済は力強さを維持

2023年のハワイ経済は力強さを見せました。マウイ島の復興には時間を要すると思われるものの、同島の観光産業は予想以上の早さで回復しており、マウイ以外のハワイ州を訪れた観光客も記録的な水準となりました。

山火事後の4カ月間は訪問者数と消費額の減少が続きましたが、ビジネス経済開発観光省 (DBEDT) が発表した12月のデータでは訪問者数が増加に転じています。2023年にハワイ州を訪れた観光客は964万人となり、2022年の923万人から4.4%増加しました。また、2023年の観光消費総額は207億8,000万ドルに達し、2022年の197億ドルからは5.5%の増加、コロナ禍以前である2019年の177億2,000万ドルからは17.3%の増加となりました。

DBEDTによると、ハワイの失業率は2023年12月現在で2.9%となり、2022年末の3.7%から減少しました。ちなみに、同時期の全米失業率は3.5%でした。過去を振り返ると、ハワイの失業率は2020年4月に22.40%と過去最高を、2017年9月に1.90%と過去最低を記録しています。コロナ禍の発生後に雇用市場を離れた多くの労働者がまだ職場に戻っていないため、ハワイの雇用市場は今もひっ迫しています。

ハワイの住宅市場では、2023年にオアフ島とカウアイ島で住宅価格の下落が始まり、在庫不足と住宅ローン金利の上昇により販売件数が減少しました。2023年における一戸建て住宅価格の中央値は、オアフ島では6.0%下落して103万4,500ドルとなり、カウアイ島では2.5%

下落して115万ドルとなりました。一方、ハワイ島では2.0%上昇して51万ドルとなり、マウイ島では8.4%上昇して120万ドルとなりました。州全体では、一戸建て住宅の販売件数は7,590件となり、2022年から27.2%減少しました。

2023年におけるコンドミニウム価格の中央値はオアフ島を除いて上昇し、販売件数は州全体で減少しました。コンドミニウムの価格中央値は、マウイ島で7.1%増の83万ドル、カウアイ島で1.8%増の72万5,000ドル、ハワイ島で1.8%増の58万404ドルとなり、オアフ島では横ばいの51万ドルとなりました。州全体では、コンドミニウムの販売件数は6,442件となり、2022年から29.1%減少しました。

従業員の成長を支援

当行の最大の強みは行員にあります。当行の行員は、お客様や地域社会および他の行員に最高の体験を提供するために日々努力を続けています。バンク・オブ・ハワイは、福利厚生やその他の支援を通じて、行員の幸福な生活の実現と職業的能力の開発に取り組んでいます。

当行は新しい育児休暇制度を今回導入しました。この制度は、出産、養子縁組または里親制度による子供の受け入れ

2023年の受賞実績

ニューズウィークによる評価:

「世界で最も信頼できる企業」全世界銀行部門で第24位。世界21カ国の23業種から選ばれた1,000社の中で、当行はハワイの銀行部門を代表する唯一の企業として際立っています。

「米国で最も信頼できる企業」に2年連続で選出。当行は銀行業カテゴリーで全米第4位となりました。また、23業種・700社に及ぶ選出企業の中では唯一のハワイ企業です。

読者が選ぶ
「ベスト・バンク」
を受賞



- ▶ ホノルル・スターアドバタイザー (13年連続)
- ▶ ハワイ・トリビューンヘラルド (8年連続)
- ▶ ウェスト・ハワイ・トゥデイ (4年連続)

トップ3

世界的な調査会社フォレスター社による第1回「National Customer Obsessed Enterprise Award」の最終選考に残りました。

を行った行員に2カ月間の有給休暇を付与し、子供との絆を深める機会を設けることを目的としたものです。

また、2023年には精神衛生に関する意識向上の取り組みを強化し、非公開カウンセリングサービスやその他プログラムの利用によるセルフケアとストレス管理を従業員に奨励しました。

バンク・オブ・ハワイ財団では行員の子供および孫に奨学金を提供して高等教育の機会を開いており、この奨学金制度は2023年で10周年を迎えました。同財団では、2014年の奨学金制度開始以来、275名の奨学生に960,750ドルを提供してきました。

当行は7月に行員向けポッドキャスト「The Exchange」を開始しました。文化および従業員エクスペリエンス担当ディレクターShauna Pantohanが私とともに司会を務めています。このポッドキャストでは、従業員の体験談や当行の重要な取り組みなどを紹介しています。行員は好きなときにデスクやモバイル端末で番組を聴くことができ、私たちは行内全体の従業員とつながることができます。

お客様への気配り

当行が長期的な成功を収めるためには、お客様との持続的な関係を構築することが常に重要となります。私たちは、お客様のニーズを理解し、お客様に合わせた便利なサービスと商品をご提供することにより、お客様の期待を上回ることを目標としています。

当行では2023年に、古くからのお客様に向けた祝賀行事を実施し、長年のご愛顧に対する感謝と、お客様の人生の一部となれたことへの栄誉を表しました。この行事では、当行で70年以上口座をご開設いただいている90名以上のお客様にランの苗を贈呈いたしました。Lucile Smith Mistysyn様はそのような

お客様の一人です。103歳のお誕生日にサプライズとしてランの苗をお贈りできたことは大変光栄でした。



70年以上にわたりバンク・オブ・ハワイに金融ニーズをご相談いただいたお客様は90名以上おられます。そのお一人であるLucile Smith Mistysyn様の103歳のお誕生日には当行より感謝の意をお伝えしました。

地域社会の支援

どのような地域社会にもそれぞれの課題があります。私たちの故郷である島を長期的な取り組みにより支えることは、バンク・オブ・ハワイの存在意義の一つです。

バンク・オブ・ハワイ、バンク・オブ・ハワイ財団、および当行の従業員が2023年に行った寄付の総額は300万ドルに達しました。

今年、バンク・オブ・ハワイ財団は60件の地域非営利団体に総額160万ドル以上の助成金を提供しました。具体的には、緊急復旧活動を対象とした複数の寄付のほか、台風マワールや山火事の被害を受けた地域社会に継続的な支援を提供している非営利団体への追加支援などを実施しました。

当行の従業員は、毎年「リブ・コクア・ギビング・キャンペーン」に参加し、地域社会のために資金を集めています。今年は603,134ドルが集まり、アロハ・ユナイテッド・ウェイ(AUW)のパートナーNPOである300団体のうち、最近の自然

災害で被災した地域社会への救援活動を実施しているNPOなどへの支援に充当しました。当行の従業員は、2010年のキャンペーン開始以来、ハワイと西太平洋の地域非営利団体に820万ドル以上を寄付してきました。

多様性、公平性、包摂性、そして帰属性

さまざまな才能や経歴を持つ当行の従業員は、当行のビジネス、お客様、そして地域社会に恩恵をもたらしているため、当行は職場における包括性の推進に力を入れています。従業員は、従業員リソースグループ(ERG)に参加して専門的な関心を共有することにより、親睦、社会奉仕、キャリア開発の機会を通じてつながり合うことができます。

ERGの活動には常に銀行全体から熱心な参加者が集まります。2023年にはNā 'Ōiwi Alohaのパネルディスカッションなど注目すべき新しいイベントも開催されました。このディスカッションではゲストを招いてネイティブ・ハワイアンであることの意味について話を聞きました。当行の「ブルー・ブリゲード」は、ディスカッションを主催して、軍務従事者とその家族の精神衛生に関するオープンな対話の奨励に努めました。「ウィメン・インスパイアード」ERGはキャリア開発、金融教育およびワーク・ライフ・バランスに関するワークショップを開催して関心を集めました。また、毎年恒例となったホノルル・プライド・パレード&フェスティバルでは、バンク・オブ・ハワイの行員がRainBOH ERGに参加し、多様性と全ての人々の受容を祝いました。

歓迎と祝福

当行は5月に、Suzanne Vares-Lum氏を新任取締役として迎えました。同氏は指名および企業統治委員会ならびに信託および投資管理委員会の委員も務めます。同氏は米国陸軍少将となった最初のネイティブ・ハワイアン女性です。現在は陸軍を退役して2022年1月よりホノルルにあるイーストウエストセンターの所長を務めており、米国、アジアおよび太平洋諸島諸国間における理解と関係を促進しています。私たちは同氏の優れた経験の恩恵に浴することを光栄に思っています。

同じく5月には、S. Bradley Shairson氏を副会長兼副最高リスク責任者として迎えました。同氏は、当行の全社的なリスク体系を管理し、当行の戦略と業務を支えるように機能させる役割を担当します。同氏は企業リスク管理およびオペレーショナルリスク、コーポレートコンプライアンス、市場リスクおよびモデルリスク、信託リスク、消費者向け回収および回復を統括します。同氏は28年以上の経験を有しており、部門横断的なチームを運営して企業のリスク対応を強化してきた実績があります。

当行は今秋、エグゼクティブコミティにおける2名の昇進を発表しました。2020年11月に入行したPatrick McGuirkが副会長兼最高管理責任者に昇格しました。同氏の管掌は拡大し、法務、法務およびカस्टディ、コーポレートセクレタリー、コーポレート保険サービス、コーポレートセキュリティ、コーポレート不動産および施設、コーポレートコミュニケーション、戦略的企業調達、インベスターレーションズを統括することとなりました。

また、当行は、副会長であるMatthew Emerson氏が新たな最高戦略責任者に就任することを発表しました。同氏は2010年の入行以来、当行のさまざまな取り組みの主導に貢献してきました。

同氏は当行の主要事業、私たちが組織として歩んでいる道のり、および戦略的な取り組みを主導する協調的スキルについて深く理解しています。

退職者への謝辞

バンク・オブ・ハワイに大きな影響と貢献をもたらし、2024年に定年退職を迎える5名の方々にも、心からのマハロ（感謝の言葉）を捧げたいと思います。4月の定時株主総会で退任するBarbara Tanabe、Haunani Apoliona、Mark Burakの3名の取締役もそこに含まれています。

Tanabe氏とApoliona氏は1994年にバンク・オブ・ハワイの取締役に選任されました。同氏らは当行初となる有色人種の女性取締役として歴史に名を刻みました。同氏らの豊富な経験は、選任以来30年にわたり、当行の組織を形成する上で非常に重要な力強い声となってきました。Tanabe氏は30年以上にわたり広報、危機管理およびジャーナリズム対応に携わり、貴重な知識を当行に提供してくれました。同氏は人事および報酬委員会ならびに指名および企業統治委員会の委員であったほか、監査およびリスク委員会の委員も務めました。Apoliona氏は、ハワイ先住民を代表する変革の主導者として40年以上にわたり活躍してきました。同氏は、信頼できる見識により、取締役会や指名および企業統治委員会のメンバーとして重要な視点を提供してくれました。Mark Burak氏は2009年に取締役に就任しました。前職ではコンサルタントとして当行の長期戦略と業績評価プロセスの策定に貢献するなど、財務および戦略企画の豊富な経験を有しており、それをもって当行に貢献してくれました。取締役在任中の15年間は監査およびリスク委員会の議長を務め、指名および企業統治委員会の委員でもありました。

2024年3月にはエグゼクティブコミティメンバーであるMary Sellers氏およびSharon Crofts氏にもアロハ（お別れの言葉）を捧げたいと思います。両氏は数十年の間、経営陣の力強い代弁者となってくれました。両氏の揺るぎない献身と遺産は今後長年にわたって受け継がれていくでしょう。Sellers氏は1987年に入行し、2005年からは副会長兼最高リスク責任者を務めています。リスク管理と与信管理に関する当行の保守的アプローチには、長年にわたる彼女の支援が大きく寄与しています。Crofts氏は1999年に入行し、同様に影響力を発揮してきました。2008年からは現職の顧客ソリューション・グループ副会長を務めています。Crofts氏は情報技術、オペレーション、デジタル・チャネル、バンクオー・ケア・チームおよび事業継続を統括し、特に変化の激しい時代において、革新的なソリューションの推進と業務効率の改善に貢献してきました。

これらの親愛なる同僚や友人たちの引退後の幸運を祈っています。

おわりに

当行は、お客様、従業員、株主の皆様および地域社会の長期的な成功のために協力しながら、昨年当行を際立たせた力強さ、敏捷性および強靭性を引き続き発揮してまいります。私たちだけでも多くのことができますが、力を合わせればもっと多くのことができるでしょう。

心より感謝の意を込めて。



PETER S. HO
会長、社長兼CEO

2023年の財務実績の概要

バンク・オブ・ハワイ・コーポレーションおよびその子会社 (1株当たりの額を除き、千ドル)

12月31日終了年度	2023		2022	
収益のハイライトおよび業績指標				
当期純利益	\$	171,202	\$	225,804
基本1株当たり利益		4.16		5.50
希薄化後1株当たり利益		4.14		5.48
宣言済み1株当たり配当		2.80		2.80
純利益／平均総資産 (ROA)		0.71%		0.98%
純利益／平均株主資本 (ROE)		12.63%		16.10%
純利益／平均普通株主資本 (ROCE)		13.89%		17.83%
純預貸利ざや ¹		2.24%		2.50%
効率性比率 ²		64.95%		59.49%
普通株式1株の市場価格：				
終値	\$	72.46	\$	77.56
高値		81.73		92.38
安値		30.83		70.15

12月31日現在

財政状態のハイライトと業績比率				
貸出金とリース債権	\$	13,965,026	\$	13,646,420
資産合計		23,733,296		23,606,877
合計預り金		21,055,045		20,615,696
その他負債		560,190		410,294
株主資本合計		1,414,242		1,316,995
普通株1株当たり純資産	\$	31.05	\$	28.54
未払い貸出金とリース債権の引当金		1.05%		1.06%
専従換算社員数		1,899		2,076
支店とオフィス		51		51

12月31日終了四半期

収益のハイライトおよび業績指標				
当期純利益	\$	30,396	\$	61,307
基本1株当たり利益		0.72		1.51
希薄化後1株当たり利益		0.72		1.50
純利益／平均総資産 (ROA)		0.51%		1.05%
純利益／平均株主資本 (ROE)		8.86%		18.91%
純利益／平均普通株主資本 (ROCE)		9.55%		21.28%
純預貸利ざや ¹		2.13%		2.60%
効率性比率 ²		73.36%		56.46%

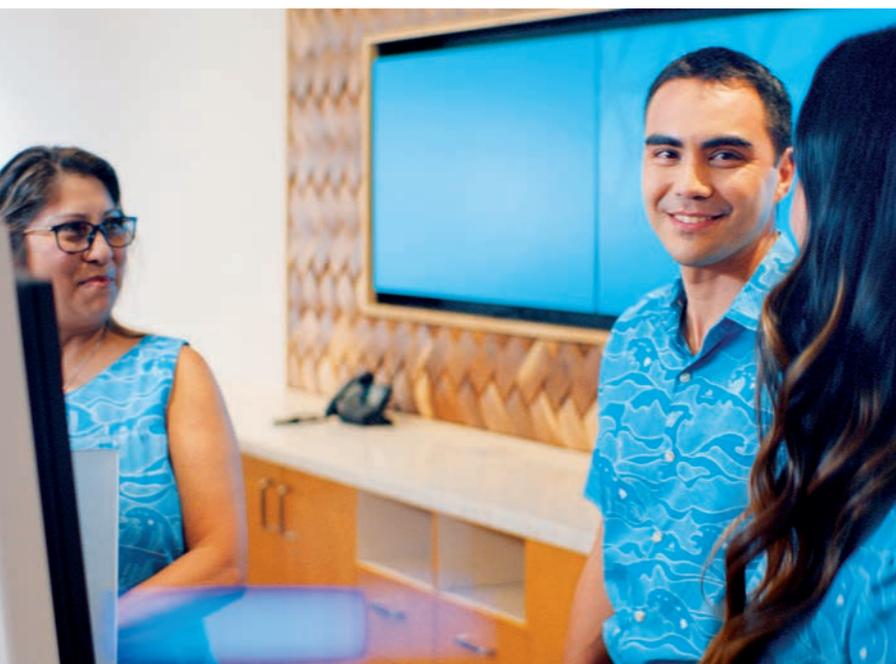
¹ 純利息マージンは、受取利息純額 (課税ベース) が平均収益資産に占める比率と定義されます。

² 効率性比率は、非利息費用を総収入 (純受取利息と非利息収入の合計) で除した数値と定義されます。

昨年を振り返り

お客様への気配り

お客様への気配りは当行の業務全ての中心となっています。私たちは、お客様のニーズを理解し、そのライフスタイルと長期的目標に合わせた便利なサービスと商品をご提供することにより、お客様の期待を上回ることを目標としています。



顧客体験

当行におけるお客様の体験を深く理解することにより、私たちは商品やお客様との対話をさらにパーソナライズすることができます。

2023年に複数の顧客接点（支店、ウェブサイト、オンラインバンキング、モバイルおよびカスタマーサービスセンター）で20,000人以上のお客様を対象として実施した調査によると、当行のブランド体験スコアは引き続き上昇しています。お客様からのフィードバックによると、私たちがお客様を理解し大切にしていると感じていただけるような体験を提供し続けていることがわかります。また、一部地域で支店にコンシェルジュを配置したことが好評であり、お客様の待ち時間が改善されたとの評価をいただいています。

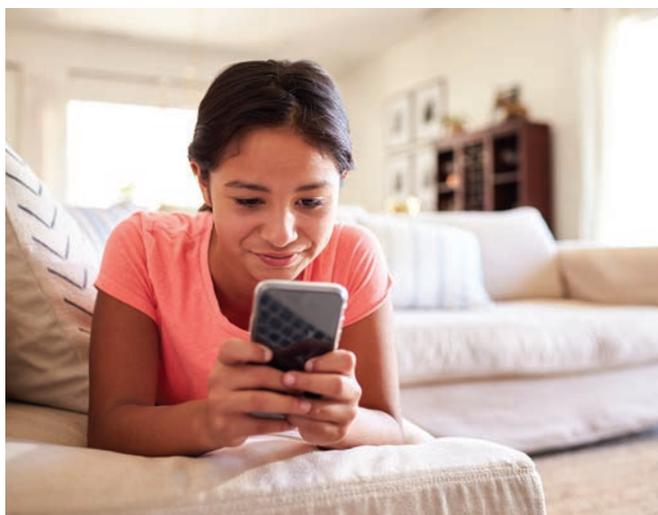
自然災害への対応

8月8日にマウイ島の山火事が歴史あるラハイナを襲いました。このとき私たちが優先したのはマウイ島の従業員の生活でした。幸いにしてマウイ島の行員は全員無事でした。彼らが互いを気遣い、地域の人々を案じる姿には心が打たれました。パパラウア・ストリートにある当行のラハイナ支店は火災で消失しましたが、他の支店から従業員が駆けつけ、無私の精神でお客様の支援に努めました。西マウイではカハナ支店とキヘイ支店により引き続きサービスをご提供しており、ラハイナ支店の再建も旧所在地近隣で進行中です。

バンク・オブ・ハワイは、マウイ島の山火事やグアムの台風マワールからの復旧をお手伝いするため、緊急支援策として特別な金融支援プログラムをお客様に提供いたしました。このプログラムは、最長6カ月の住宅ローン返済猶予や、現地の住宅所有者向けホームエクイティローンおよびホームエクイティラインなどを含むものです。個人向け分割払いローンや間接自動車ローンでは、最長3カ月につき融資を延長いたしました。また、当行は、これらの猶予期間の終了後も引き続きお客様に個別対応いたしました。

無料のGreenlight®サブスクリプションにより 子供たちの金融教育を支援

当行は10月に次世代教育の最新手法を発表しました。これは責任ある金銭管理に関する手法であり、当行が地域社会の長期的な財務的健全性を図るために行っている取り組みの一環として実施するものです。Greenlight Financial Technologyとのコラボレーションにより、お客様は同社の優れたファミリー金融アプリを無料でご利用いただけます。保護者の皆様がこのアプリをご利用になれば、お子様への送金を簡単に行うことができるほか、児童手当受給の自動化、日常的作業の管理、支出管理の柔軟な設定、取引のリアルタイム通知の受信などが行えます。



業務効率の改善

バンク・オブ・ハワイは、顧客体験の向上と併せて、業務効率の改善にも取り組んでいます。当行では、データ分析、各種テクノロジーおよびエンドツーエンド・プロセス・リエンジニアリングを用いて組織全体でこの取り組みを成長させており、全てのやり取りを関係者の視点で点検しています。

その一例として、当行は2023年より当行ウェブサイト (<https://www.boh.com/>) で都度払い (One-time Payment) の取扱いを開始いたしました。お客様は、バンク・オブ・ハワイでお借り入れの融資のご返済やバンク・オブ・ハワイ口座への送金を、どの銀行からでもログインなしで簡単に行っていただけるようになりました。対象となる融資は住宅ローン、自動車ローン・自動車リース、個人ローン、中小企業向けローン、商業ローンなどとなっています。2023年1月の同サービス開始以来、39,200件の都度払い取引をご実行いただいております。総額では2,850万ドルに上っています。

デジタルバンキングの成長

日常生活のデジタル化に伴い、お客様のデジタルバンキングへの移行も進んでいます。オンラインバンキングおよびモバイルバンキングサービスの月間利用件数は前年同期比で増加し続けています。当行で最も人気のあるデジタル機能はZelleとデジタルウォレットです。

ZELLE

このアプリでは、お客様の銀行口座から直接に、迅速かつ安全な送金が行えます。

デジタルウォレット

多くのお客様がスマートフォンをデジタルウォレットとしてご利用になっています。バンク・オブ・ハワイのデビットカードをデジタルウォレットにリンクさせれば非接触でのお買い物が可能になります。

25%

ZELLEにご登録のお客様

4億ドル

ZELLEにより移動した資金の総額

42%

2022年から2023年にかけてのZELLEによる決済金額の成長率

バンク・バイ・アポイントメント

「バンク・バイ・アポイントメント」は、専門的な対面バンキングまたはバーチャルバンキングに関して、お客様が当行との面談日時をオンラインで予約できる仕組みです。引き続きたくさんのお客様にご利用いただいております。支店へのご訪問による日時予約以外に、約54,600件の予約が「バンク・バイ・アポイントメント」で行われており、平均では1カ月に4,550件となっています。



54,600

面談の
オンライン予約件数

ご予約の種類 上位5位

- ▶ 当座預金口座
- ▶ 口座のご変更
- ▶ 公証サービス
- ▶ 個人ローン
- ▶ 電信送金



ハワイにおける住宅ローンと ホームエクイティローンのリーダー

バンク・オブ・ハワイは不動産デベロッパーと提携して、ハワイの慢性的な住宅不足に対応するソリューションを開発しています。また、当行の住宅ローン担当者はお客様の住宅購入を支援しています。当行がHUD 184Aネイティブ・ハワイアン住宅ローン保証プログラムを導入した2007年以降、当行は、ハワイに拠点を置く、ハワイ先住民保留地局(DHHL) ローンを提供する唯一の融資機関です。

当行のSimpliFi Mortgageは便利なオンラインツールです。また、当行の住宅ローン担当者は、住宅購入をご検討中のお客様や住宅所有者の皆様に対して、豊富な経験を生かした的確なアドバイスをご提供しています。当行は、地域社会の人々が、住宅所有、改良、ローンの借り替えなどあらゆる面で当行にご相談くださることを光栄に思っています。

バンク・オブ・ハワイは常に低価格住宅の不足に対する新たな解決策への投資に全力を尽くしており、民間開発業者や州住宅局と緊密に連携して低所得世帯の住宅ニーズを支援するよう務めています。

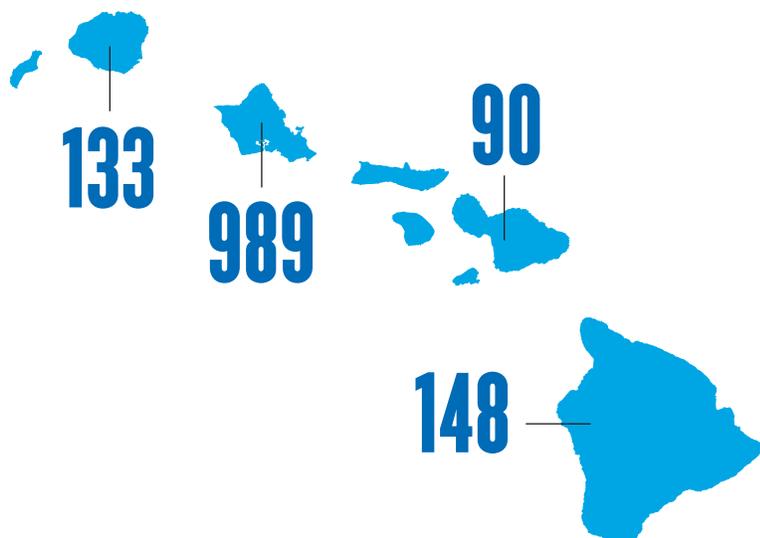
「ブランチ・オブ・トゥモロー」の ネットワーク

8月にグアム島タムニンで当行の新しい西太平洋地域本社の着工式を開催しました。施設全体の面積は18,364平方フィートに及び、その中に5,147平方フィートのブランチ・オブ・トゥモローがあります。この建物はマルチゾーン式空調設備やエネルギー消費を低減する光センサーなどのエネルギー節減機能を備え、内外装の仕上げ材にはリサイクル資材を用いています。また、自家発電設備も備えており、停電時にも瞬時に業務を再開できるようにになっています。

バンク・オブ・ハワイの 支店およびATM

2023年12月31日現在

	支店および インスタ型 支店	ATM
ハワイ州	47	271
オアフ島	25	183
ハワイ島	8	40
マウイ島	8	26
カウアイ島	4	20
ラナイ島	1	1
モロカイ島	1	1
西太平洋	4	42
グアム	2	30
北マリアナ諸島／サイパン	1	8
パラオ	1	4
合計	51	313



各島での低廉住宅プロジェクト

バンク・オブ・ハワイの貢献もあって、2023年中に着工した低価格住宅は1,360戸以上となり、さらに800戸以上の建設計画が進んでいます。

2023年には以下のような住宅開発に着工いたしました。

カロコ・ハイツ (ハワイ島カイルア・コナ)

カロコ・ハイツは42室の2LDKおよび58室の3LDKからなる低層の低廉住宅で、太陽光発電温水器を備えています。このプロジェクトはハワイ島地域社会開発公社がスポンサーとなっており、世帯所得が地域所得中央値 (AMI) の30~60%である世帯を想定しています。また、住居のない家庭や住居を失う恐れがある家庭のほか、避難所や仮設住宅から退出しようとする家庭のために5室を確保しています。バンク・オブ・ハワイは2,700万ドルの建築ローンを提供してこのプロジェクトを支援しています。このうち400万ドルが無期限融資、970万ドルがエクイティとなっています。完工は2024年末を予定しています。

パークウェイ・ビレッジ (オアフ島カポレイ)

パークウェイ・ビレッジは初の試みとなる2相型の複合用途プロジェクトで、合計405室の賃貸低廉住宅と併せて保育学校2校を敷地内に建設するものです。このプロジェクトはカポレイにおける住宅ニーズと早期教育ニーズに同時に対応することを目指す革新的な取り組みであり、Kobayashi GroupとĀhē Groupの提携により実現しました。バンク・オブ・ハワイは4,200万ドルの建築融資と3,600万ドル以上の無期限融資を提供してこのプロジェクトを支援しています。賃貸住宅部分はワンルームから4LDKまでの集合住宅で、所得がAMIの30~60%である住民が入居できます。開発はホノルル市とホノルル郡が所有する土地の10エーカー部分



住宅用不動産

バンク・オブ・ハワイは2023年に住宅ローンで地方銀行第1位となりました。

にわたって実施されます。入居開始は2024年末を予定しています。

ハラワ・ビューII (オアフ島ハラワ)

ハラワ・ビューIIは18階建ての低廉住宅プロジェクトで、所得がAMIの30~60%である世帯に302室を提供するものです。うち5戸は慢性的なホームレスや米国退役軍人省から紹介された人々のために確保されています。この高層住宅はPacific Development GroupがHunt Companiesと共同で開発しています。バンク・オブ・ハワイは4,000万ドル以上の建築融資と2,400万ドル以上の無期限融資を提供してこのプロジェクトを支援しています。ハラワ・ビューIIは新しいスカイライン鉄道交通システムの駅から徒歩圏内に建設されており、間取りはワンルーム、1LDK、2LDKおよび4LDKとなっています。各戸にはエネルギー効率の高い器具が取り付けられており、戸外には電気自動車の充電ステーションや低流量配管が設置されるほか、必要水量を最小限に抑えた緑化が施されます。ハラワ・ビューIIは2025年の完工を予定しています。

中小企業の成功を支援

当行は2023年に、地域のアクセラレーターおよびベンチャーファンドであるMana Upとの提携を拡大し、ハワイを拠点とする製品を世界的に成長させるという同社の使命を支援しました。私たちはメンターシップ・プログラムを共同で立ち上げ、当行のエグゼクティブメンターをMana Upの9人の起業家に引き合わせることで、彼らが次のステップに進めるよう支援しました。第1期生は今春このプログラムを修了しました。私たちはその後も起業家の指導を続けており、Mana Upの投資先である中小企業と共同でマーケティング・プログラムを立ち上げました。



バンク・オブ・ハワイがMana Upと共同で開催したメンターシップ・プログラムに第1期生として参加した地元起業家の皆さん。4月にMana Up本社で修了を祝いました。



私たちのコミュニティ

揺るぎない 奉仕の姿勢

私たちの島々には独特の地域社会があります。バンク・オブ・ハワイはそこで古くから慈善活動を支援してきました。地域社会が危機に瀕したとき、私たちはすぐに行動し、当行のパートナーである多数の非営利団体にサービスと支援を提供しています。

300万ドル

バンク・オブ・ハワイ、当行の財団、当行の従業員および退職者が2023年に地域社会に寄付した総額。



災害の救援と復旧

私たちの地域社会は2023年に自然災害による深刻な被害を受けました。5月24日には台風「マール」がグアムに上陸しました。これは北半球で史上最大級の台風であり、多数の家屋や樹木が浸水・倒壊し、基本的公共サービスが数週間にわたり利用不能となりました。

8月8日にはマウイ島で山火事が発生しました。これはハワイ史上最悪の自然災害となり、多数の生命や家屋、人々の生活が失われました。

バンク・オブ・ハワイは、ATM手数料の無料化、ローンの返済猶予と期限延長など、必要不可欠な金融サービスをご提供するとともに、バンク・オブ・ハワイ財団を通じて復旧支援に向けた寄付を行ったほか、非営利団体に対する長期的な支援を継続しています。

マウイ島の救援

バンコー・ブルー・クルーのボランティアは、マウイ島火災の被災者救援を目的として、ハワイ・コミュニティ財団、グッドウィル・ハワイ、およびハワイ先住民促進委員会 (CNHA) に対する実地支援を行いました。190名以上のボランティアが1,357時間を投じてオアフ島とマウイ島で支援物資の仕分けを行ったほか、郵送された寄付の仕分け、データ入力、支援者からのメッセージへの返信などを支援しました。

寄付のハイライト

10万ドル

ハワイ・コミュニティ財団のマウイ・ストロング基金に寄付された金額。マウイ島火災に対する緊急支援や長期的復興のニーズを支援する財源となります。

3万5,000ドル

ラハイナルナ高校運動部への「ルナ・ストロング・キャンペーン」に寄付された金額。マウイ島火災で被災した学生運動部員の支援に充当されます。

5,000ドル

レガシー・オブ・アロハ財団に寄付された金額。西マウイの家庭に数百食の食事を提供できました。

5,000ドル

マウイ・ファミリー・サポート・サービスに寄付された金額。家族や家を失ったラハイナの住民に直接送られます。

49万8,800ドル

2023年12月31日までにハワイ銀行協会の「アロハ・フォー・マウイ」キャンペーンに集まった金額。各支店では一般からの募金を受け付け、その全額をハワイ・コミュニティ財団のマウイ・ストロング基金に届けました。

3万ドル

米国赤十字の太平洋諸島地域支部に寄付された金額。グアムにおける台風マールの救援活動に充当されます。

5,000ドル

マカイ基金に寄付された金額。同基金は現地の家族、企業およびリーダーによるパートナーシップであり、マウイ郡の再建を中心とした取り組みを実施しています。

2,500ドル

「リビング・ポノ・プロジェクト」に集まった金額。これはマウイ島火災で被災したラハイナとクラの子供たちに玩具を寄付する取り組みを支援するプロジェクトです。

左ページ上から右回りに：カパパロイ・オ・カネワイで活動するバンコー・ブルー・クルーのボランティア／ホノルルのダウンタウンで開催されたアロハ・ユナイテッド・ウェイ・キャンペーン2023の立ち上げを支援する当行行員たち／当行のネイティブ・ハワイアンERGであるNā'Ōiwi Alohaが主催したコミュニティサービスのイベント。オアフ島リーワード地区で家を失った多数の人々を支援しました。

リブ・コクアでみんな一つに

バンク・オブ・ハワイの行員は地域社会の支援にいつも惜しみなく時間を投じています。当行が2006年より実施している「リブ・コクア・ボランティア・プログラム」のメンバーは、バンコー・ブルー・クルーのボランティアとともに、目印となる青いTシャツを着て、さまざまな地域社会サービスのプロジェクトに参加しています。

2023年リブ・コクア・ギビング・キャンペーン

2023年リブ・コクア・ギビング・キャンペーンは、#ComeTogetherForCommunity（地域社会のために力を合わせよう）をテーマとして603,134ドルを集めました。この募金は、アロハ・ユナイテッド・ウェイに参加している300件の非営利団体パートナーを支援するために充当されます。これらの団体には、マウイ島、ハワイ島およびグアムの自然災害で被災した地域社会を救援している団体が含まれています。このキャンペーンは9月12日から10月20日まで開催されました。

603,134ドル

2023年リブ・コクア・ギビング・キャンペーンで集まった募金額

820万ドル

2010年以来、リブ・コクア・ギビング・キャンペーンが地元非営利団体に提供した寄付金の総額



リブ・コクア・ボランティア・プログラムのハイライト



当行従業員のPaula LewisさんとVergie Navarro-Phanさん、Vergieさんの娘のAnisa Phanさんは「グッドウィル・ゴーズ・グラム！」で品物の仕分けを手伝いました。

ハワイ・フードバンク

当行のバンコー・ブルー・クルーは、低所得の高齢者のために800個以上の健康的なフードボックスを作りました。この活動には、2,300個の食品容器の組み立てや、配送用の箱を運ぶパレットの準備も含まれています。

グッドウィル・ハワイ

「グッドウィル・ゴーズ・グラム！（善意の花を咲かせる）」に寄せられた寄付の仕分けに加えて、12名の行員ボランティアが内国歳入庁から認定を取得し、ボランティア所得税支援プログラムの一環として、グッドウィル・ハワイの各事務所で低所得納税者に無料の確定申告書作成サービスを提供しました。

第16回年次地域社会サービスデー

約200名のボランティアが、ハワイ大学マノア校にある地域社会のカロ（タロイモ）畑「カパパロイ・オ・カネワイ」で1日の間作業を行いました。ボランティアたちは大量の瓦礫を取り除き、畑で働きながら、地域の歴史と文化的重要性を学びました。

レアヒ・ミレニアム・ピース・ガーデン

21名の当行夏季インターンが、ワイキキ郊外にあるレアヒ（ダイヤモンドヘッド）州立記念公園の入口で、低木の剪定、外来種の除去、および清掃を行いました。

アロハ・ユナイテッド・ウェイ・キャンペーン

当行のバンコー・ブルー・クルーは、ホノルルのダウンタウンでプラカードを掲示し、地域社会の健康、教育および経済的安定を促進するというアロハ・ユナイテッド・ウェイ（AUW）の使命について認知度向上を図りました。バンク・オブ・ハワイはAUWを長年支援しており、働く個人や家族を支援する非営利団体を援助するALICEイニシアチブへの資金提供や、基本的な生活必需品を購入できないハワイの勤労者の生活基盤安定に向けた課題を研究するALICEレポートへの資金提供なども行っています。

バンク・オブ・ハワイ財団

非営利団体との提携一覧

バンク・オブ・ハワイ財団は、助成金やボランティア活動を毎年提供し、私たちの地域社会で活動する多数の非営利団体のビジョンやサービスを支援しています。ここに掲げたものは2023年に資金を提供した団体の一部です。

160万ドル以上

20万ドル

プウホヌア・オ・ワイアナエ

現在建設中のプウホヌア・オ・ワイアナエ・ピレッジ建設資金です。これはワイアナエ渓谷の20エーカー部分に仮設住宅を建設し、現在住居のない人々を収容するプロジェクトです。

10万ドル

ストラアブ火傷治療センター

ハワイおよび太平洋地域唯一の火傷治療センターへの助成金です。

ワイアナエ・コースト総合医療センター

同センターの歯科医療センターを近代化し、西オアフの幼児や高齢者を対象としたサービスを拡充することを目的とした助成金です。

5万ドル

米国心臓協会ハワイ支部

「病院選定」制度（ワヒアワ医療センター）に基づく助成および2023年ハワイ・ハートウォーク支援資金です。

3万ドル

グッドウィル・ゴーズ・グラム!

グッドウィル・ハワイは雇用に障害を持つ人々のスキルアップと就職を支援する募金活動を毎年開催しています。当行はプレゼンティング・スポンサーとしてその活動を継続的に支援しています。

2万5,000ドル

米国赤十字

警報器の設置を通じて火災による人身事故を防止し、人命救助に貢献する「ホーム・ファイヤー・キャンペーン」への資金提供です。

ディーチ・フォー・アメリカ ハワイ支部

ハワイの子供たちに優れた教育を提供するプログラムを支援しています。

1万5,000ドル

プリンス・ロット・フラ・フェスティバル

優れたフラ・スクールを全島から招いて毎年開催され、今年で第46回目を迎えるハワイのダンスと文化の祭典です。当行はスポンサーとして資金提供を行っています。

地域社会再生投資法／ 2023年の金融経済教育

当行は地域社会再生投資法 (CRA) の指定を受ける資格のある活動を実施しています。学校での金融リテラシーの指導はその一つです。また、中小企業支援、低廉住宅建設、高収入雇用の創出、ホームレス問題への取り組み、医療の改善などを手がける各種組織との提携もそれに該当します。



当行のブルー・クルーとSimpliFiアスリートは、金融リテラシー月間にプリンセス・ルース・ケエリコラニ中学校でスマートマネー・レッスン・デーを開催しました。

金融教育

ジュニア・アチーブメント 米国大統領ボランティア・サービス賞

2023年6月にワシントンD.C.でジュニア・アチーブメント・ボランティア・サミットが開催され、バンク・オブ・ハワイは米国大統領ボランティア・サービス賞の銅賞を受賞しました。この賞は、2021-22年の学校年度においてジュニア・アチーブメント・ボランティア・サービスに1,000時間以上貢献した団体を表彰するものです。1,081時間のボランティア活動を行ったバンク・オブ・ハワイは、ハワイ企業で唯一の栄誉に輝きました。

公立学校における金融リテラシー授業

バンク・オブ・ハワイは2009年以来、ハワイおよび西太平洋地域の公立学校で金融教育を実施しています。金融リテラシー月間である4月には、ハワイ大学の運動部員17名が、当行行員52名とともにスマートマネー・レッスン・デーに参加し、プリンセス・ルース・ケエリコラニ中学校の全校生徒に貯蓄の大切さを教えました。

また、当行のボランティアは4月、5月および10月にその他の学校の生徒にも金融教育を実施し、家計、貯蓄、投資、「ニーズ」と「ウォンツ」の違いなどについて、年齢に応じた授業を行いました。

プリンセス・ルース・ケエリコラニ中学校 のルネサンス基金を支援

プリンセス・ルース・ケエリコラニ中学校はホノルルのダウンタウンにあるタイトル1学校です。バンク・オブ・ハワイは同校で金融リテラシー授業を継続的に実施するとともに、それにとどまらない特別な関係を築いています。

当行は、複数の地域支援組織と共同で、同校の「ルネサンス基金」を設立しました。この基金は、学業成績やスポーツ、および社会奉仕活動で優秀な成績を収めた生徒に報奨金を授与するものです。この基金の目標は、生徒たちが将来役に立つ優れた能力を身につけるよう触発することにあります。このルネサンス・プログラムは2022-23年の学校年度に開始し、表彰式では65名の生徒に報奨金を授与しました。



Kaydi DakujakuとBrandy Okudaの両氏は家計と貯蓄についての魅力的な授業を生徒らに行いました。

里親制度で育った若者のエンパワーメント

バンク・オブ・ハワイは、EPICオハナのHI H.O.P.E.S.イニシアチブを、2010年の開始以来支援しています。このプログラムは、里親制度を経験したハワイの若者が、人生で成功を収めるために必要なリソースや機会を得られるように図るものです。

HI H.O.P.E.S.の開始以来1,036の個人貯蓄口座が開設され、住宅、教育、車など高額支出のためのマッチング資金が提供されています。これらの口座は現在までに総額152万ドルの適格購入に利用されています。

オアフ島で
最も一般的な支出

33% 教育

29% 自動車

近隣諸島で
最も一般的な支出

43% 自動車

24% 住宅

サイパンの中小企業を支援

バンク・オブ・ハワイ財団は、毎年恒例の「I Kinometi Para I Kumunidât I Islâ-ta中小企業再生・開発助成金」を通じて、サイパンの経済的安定性向上を支援しています。当行はこのプログラムを2012年に開始し、それ以来27万5,000ドルを55社の中小企業に提供しました。



ノーザン・マリアナス・カレッジで開催された特別プレゼンテーションで、今年選出された中小企業経営者の皆さんに賞が授与されました。

2023年には以下の中小企業5社に
各5,000ドルを授与しました。

El Bishu

チャモロ人女性が経営する製菓会社です。商品ラインナップの拡大を図りテストキッチンを建設しました。

Kumoi Farms

高品質の豚肉製品を製造販売している養豚場です。小学生を対象とした農場見学ツアーを開催しており、生徒の参加者を増やすため体験学習活動に資金を充当しました。

STEMify CNMI Robotics & Automation

この地域唯一の若年層向けロボティクスおよびオートメーション訓練センターを運営する企業です。学生向けに放課後開催しているSTEMロボット・オン・ホイール・プログラムに登録した最初の生徒100人に奨学金を提供しました。

Tasi to Table

持続可能な漁業活動、環境保護、および水の安全について若年層に教えている非営利団体です。プログラム参加者のために釣り竿とリールを購入しました。

Tupu Cane Juice

天然サトウキビのコールドプレスジュースを製造している中小企業です。需要増加への対応を図り設備を更新しました。



私たちの行員

行員の 能力開発

2023年は当行行員にとっていろいろな意味で困難な1年でした。その中で、バンク・オブ・ハワイは、行員への必要な支援とリソースの提供を最優先してきました。当行は、全ての人々の声を大切にするを旨とし、行員たちがお客様と地域社会に持続的な利益をもたらせるように努めています。

275名

大学奨学金を授与した
バンク・オブ・ハワイ行員の
子女および孫の人数。



従業員の福利厚生と表彰

新しい有給育児休暇

当行は2023年に新しい有給育児休暇制度を導入しました。この制度は、出産、養子縁組または里親制度による子供の受け入れを行った行員に12カ月間の有給休暇を付与し、子供の世話を通じて絆を深める機会を設けることを目的としたものです。

従業員支援融資制度

バンク・オブ・ハワイは従業員向けの新しい個人融資制度を開始しました。融資額は1,000ドルから10,000ドルの範囲で、返済期間は36カ月となります。割引金利を適用し融資手数料を免除します。この制度は、マウイ島の山火事で被災した行員とその家族にとって特に大きな支援となりました。

行員の成果を祝福

当行では、複数の表彰制度やエンゲージメントプログラムにより、従業員への感謝の気持ちを表しています。

2022年に開始したアプリ「SHINE!」では、従業員が同僚にエールを送ることや、誕生日や記念日を祝うことができます。現在このアプリには月平均1,600回のアクセスがあります。

当行は各四半期に「バンコー・ベスト・アワード」を開催し、期待水準以上の貢献を果たした行員を他の行員が推薦できる機会を設けています。

当行が毎年開催している「チェアマンズ・サークル・アワード」では、当行のコアバリューの模範となった行員や、戦略的取り組みの推進に前向きな影響を与えた行員、お客様のご要望や地域社会の利益に貢献した行員など、優秀な行員を表彰しています。



5月19日には、ハレオ・カボレイを含む全行の行員が、精神衛生啓発月間を支援して緑色の服を着用しました。

従業員のエンゲージメントを維持

コロナ禍後の環境においては、従業員とのつながりを維持することがますます困難になっています。私たちはさまざまな方法を用いて行員相互のつながりを維持し、最新の情報を全員に伝えるように努めています。

企業ポッドキャストの開始

当行は2023年7月に従業員向けポッドキャストを開始しました。最高経営責任者Peter Hoと、文化および従業員エクスペリエンス担当ディレクターShauna Pantohanが司会を務め、行内で最近あった出来事について行員との間で有意義な対話を行っています。たとえば、山火事で直接の被害を受けたマウイ島行員の個人的エピソードを紹介し、銀行の対応や多数のリソースについて共有しました。行員は話題のアイデアを提供することができ、事例の提案や質問を行うこともできます。このポッドキャストは行員に好評となっています。

従業員からの継続的なフィードバック

当行では2023年4月に従業員体験に関するパネルディスカッションを開始しました。さまざまな分野の行員が集まり、毎日の勤労生活に影響を与える業務上の問題や話題について、意見交換やフィードバックの提供を行っています。このパネルディスカッションと、当行が年2回実施している行員アンケートは、社内協力や革新的思考のために誰もが自由に意見を述べられる安全な空間となっています。

精神衛生に対する特別な取り組み

バンク・オブ・ハワイは、精神衛生に対する意識の向上を支援する重要性を常に認識しています。2023年5月の「精神衛生啓発月間」では、各種のアクティビティや教育セッションを初めて実施しました。ほとんどのアクティビティはオンラインでアクセス可能で、医療従事者との情報提供セッション、ガイド付き瞑想、ヨガなどのアクティビティを実施しました。また、当行の従業

左ページ上から右回りに：当行の大学支援プログラムによる支援を受けたLinda Yoshimotoさんが5月に学位を取得しました／当行の行員が集まりオアフ島・ヘイア養魚池の復旧を支援しました／ワイキキで開催されたホノルル・プライド・パレード&フェスティバルで150名以上の行員と'ohana(家族)が行進しました。

員リソースグループである「ブルー・ブリゲード」と「ウィメン・インスパイアード」は、精神衛生とセルフケアを中心に、ストレス解消に向けたアクティビティを併せて提供しました。これに対しては行員から好意的なフィードバックが寄せられたため、当行では1年を通じてブルー・ブリゲード主催のランチ・アンド・ラーニング・セッションを定期的に開催することとし、精神衛生に重点を置いた活動を継続しています。

大学の学費 完全無償化

5月には、4名の行員が、バンク・オブ・ハワイ大学支援プログラムを通じて、ホノルルのシャミナード大学から学士号を授与されました。このプログラムは、シャミナード大学またはハワイ大学コミュニティ・カレッジで準学士号または学士号を取得するために必要な授業料の全額を負担するものであり、これまでに21名の行員が学位を取得しています。

2023年からは、通常の学期日程に合わせて登録する必要がなくなり、1年中いつでも登録できるようになりました。

次の世代へ

バンク・オブ・ハワイ財団の奨学金制度は2023年に第10期目を迎えました。この制度は、設立以来275件(総額960,750ドル)の資金を提供し、バンク・オブ・ハワイ行員の子女と孫の高等教育費用について支援を実施してきました。

従業員能力開発プログラム

当行では、従業員のスキル向上、キャリアの発展、ビジネス・コミュニティにおける人脈拡大などを目的とした各種のプログラムを提供しています。

夏季インターンプログラム

6月12日～8月4日

33名の夏季インターン生が21部署で8週間の勤務を体験しました。

パスウェイ・トゥ・ プロフェッショナル・ エクセレンス

7月10日～12月6日

9つの事業部門を代表する37人の行員が、管理職に指名され、選ばれて、この評価が高いリーダーシップ・プログラムに参加しました。

顧客体験 (CX) アドボケート

1月19日～12月31日

95%の部署を代表する48名の行員が、世界的な調査・アドバイザリー会社による専門的研修を受け、顧客体験、従業員経験およびオペレーショナル・エクセレンスの向上に向けてCXアドボケートの認定を取得しました。

MOVERS AND SHAKAS

4月15日～5月18日 (春季)

9月30日～11月2日 (秋季)

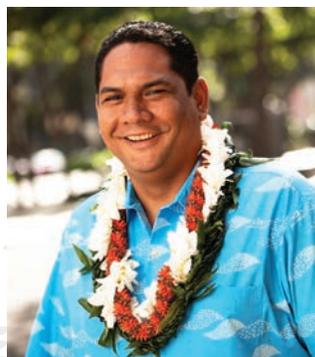
ハワイの企業からの参加者2名が、文化教育、地域奉仕活動およびネットワーク構築の機会を通して関係を築き、ハワイに対する理解を深めました。

カレッジ・メンターシップ・ プログラム

3月6日～4月17日 (春季)

10月2日～11月13日 (秋季)

シャミナード大学、ハワイ太平洋大学およびハワイ大学シドラー・カレッジ・オブ・ビジネス・スチューデント・クラブ(ビジネス・エグゼクティブ・ソサエティ・オブ・トゥモロー、フィナンシャル・マネジメント・アソシエーション、およびインフォメーション・テクノロジー・マネジメント・アソシエーション)から21名の学生が参加し、職業的能力開発に関する支援を受けながら、企業における労働環境、金融業界およびバンク・オブ・ハワイに関する洞察を得ました。



店舗行員の新しい制服を発表

軽快で快適な新しい制服は、当行ブランドチームが特別にデザインし、トリ・リチャードがプロデュースしました。新制服には、当行のブランド・デザインが多くに採用されている「バンク・オブ・ハワイの花びら」があしらわれており、私たちが共に力強く前進していくための精神と強さを表現しています。

従業員リソースグループによる主体的な活動

当行の従業員リソースグループは、親睦、社会奉仕、およびキャリア開発の機会を通じて、相互につながり合う手段や専門的な関心を共有する方法を行員に提供しています。



左：Nā 'Ōiwi Alohaは「メイク・ア・ディファレンス・デイ」にプウホヌア・オ・ワイアナエのための地域社会奉仕行事を開催しました。上：当行のウイメン・インスパイアードERGは、家庭と仕事を両立させるプロフェッショナルのための実践的ワークショップを盛り込んだ「EmpowHER：変化の時代における成長」フォーラムを開催しました。

2023年のハイライト：

Nā 'Ōiwi Aloha

当行のネイティブ・ハワイアンERGは特別ゲストを招いて「ウィ・アー・ザ・バンク・オブ・ハワイ」と題するディスカッションを開催しました。招待したゲストの皆さんは、ネイティブ・ハワイアンであることの意味や、バンク・オブ・ハワイのネイティブ・ハワイアンを支援する方法について、さまざまな視点から意見を提供してくれました。また、同ERGは11月にプウホヌア・オ・ワイアナエで地域社会奉仕行事を開催しました。プウホヌア・オ・ワイアナエはオアフ島リーワードにある自治集落（ホームレスキャンプ）で、約250人のネイティブ・ハワイアンが生活しています。

ブルー・ブリゲード

当行の軍人関連ERGであるブルー・ブリゲードは、軍人感謝月間と精神衛生啓発月間に特別な焦点を当て、行員の福祉と精神衛生に関するイベントを1年を通じて開催することとしました。「OKじゃなくてもOK」と題されたディスカッションでは、精神疾患の治療にまつわる差別や偏見について議論が行われました。また、別のディスカッションでは、軍人の家族や配偶者が直面する独特の課題に関する知見が共有されました。

ウイメン・インスパイアード

ウイメン・インスパイアードのメンターシップ・プログラムが7月に復活し、新たな学びや洞察を共有する機会を行員に提供しました。11月には、半日の「EmpowHERフォーラム：変化の時代における成長」を開催しました。この

フォーラムでは、キャリア開発、金融スキルと洞察力、ワーク・ライフ・バランスなどに関するワークショップやパネルディスカッションが行われたほか、退役軍人である米国連邦上院議員 Tammy Duckworth氏による特別基調講演も行われました。

RainBOH

RainBOHはLGBTQIA+に関するERGで、年間を通じて従業員のインターセクショナルリティ（交差性）に関する体験談を共有しています。10月には150名以上のボランティアが2023ホノルル・プライド・パレード&フェスティバルに参加しました。毎年開催されるこのコミュニティ・イベントは、ハワイのクィアの豊かな歴史と文化を称える行事です。

WATANABE FLORAL, INC.

RUSSELL WATANABE (CEO)

1945年創業のWatanabe Floralは今年で78年目を迎えます。同社はWatanabeのご両親であるErnest WatanabeとShizue Watanabeがオアフ島で始めた会社です。お二人の交際は第二次世界大戦により中断されました。ErnestはShizueと結婚するために故郷に戻り、戦後に再会する全ての人々のためにバラを育てることを決意なさいました。このように始まった同社は、最初はバラの栽培業者でしたが、その後卸売業者、小売業者およびデザイナーへと発展し、現在では世界中から花卉を仕入れています。70名の従業員を擁する同社は、創業以来100年以上にわたり、ハワイ最大の品揃えである切り花の中から、どのような機会にも対応できるフラワーデザインを生み出すことで高い評価を得ています。しかし、同社が最も重視していることは、アロハの精神をもって他の社員やお客様あるいは地域社会と接することであり、それは今でも変わっていません。同社の皆さんは、ErnestとShizueの遺志を継ぎ、言葉だけでは表せない気持ちを表現しようとするお客様のお手伝いをするに大きな誇りを持っています。 WATANABEFLORAL.COM

右：Russell Watanabe (CEO) と Monty Pereira (ジェネラル・マネージャー兼セールスおよびマーケティング・ディレクター)





「私たちがバンク・オブ・ハワイとの
お付き合いを始めたことにはたくさんの
理由があります。伝統、歴史、安定性、
強さ、ハワイの地域社会に対する支援、
その全てが理由です。」

- RUSSELL WATANABE



「私が銀行との関係に求めていることは
創造的な思考です。」

- PETER MERRIMAN



プライベート・バンキング

MERRIMAN'S RESTAURANTS

PETER MERRIMAN (オーナーシェフ)

Peter Merrimanは1988年に、最初のレストランをハワイ島ワイメアにオープンしました。そのレストランは世界で初めてハワイの地元料理を提供した店でした。当時、ハワイの農産物は大半が輸出用であり、地元のレストランで提供されることはほとんどありませんでした。最も新鮮で風味豊かな料理を提供するというビジョンを実現するため、同氏は農家に地元産農畜産物の生産を勧め、島内での消費を目的とした農業により持続可能なハワイを目指す運動を主導しました。

現在、同氏のレストランは州内に11店舗あり、30件以上のサプライヤーから毎日購入する地元産の食材が、店舗で使用する食材の90%以上を占めています。同氏はハワイの農家、牧場主、漁師に対する支持を積極的に訴え続けておられます。同氏のレストランでは、ハワイのさまざまな文化が育てた多様な味わいが楽しめる島育ちの食材を取り揃えています。 MERRIMANSHAWAII.COM

左: Merriman's RestaurantsのオーナーシェフであるPeter Merriman。マウイ島カバルアにて撮影。

OFF THE HOOK POKE MARKET

JP LAM・TOMOKI ITO (共同オーナー)

日本食レストラン出身のJP LamとTomoki Itoは、バーベキューが好きなサーファーたちのグループで知り合いました。日本料理に欠かせないマグロはハワイアンスタイルのポキでも中心的な食材です。両氏は自分たちの調理経験をハワイアンスタイルのポキに生かそうと考え、2018年にOff The Hook Poke Marketをオープンしました。ハワイで最高のポキを提供しようと決意した両氏は、毎朝ホノルル魚市場を訪れ、最高に新鮮な魚を使うようにしています。両氏は新しい味でお客様にサプライズと喜びを提供しようと常に努めています。両氏の努力とスタッフの献身的な働きにより、同店はハワイの最優秀シーフードレストランとして2019年のイリマ賞を受賞しました。

FFTHEHOOKPOKEMARKET.COM

右：Off The Hook Poke Market (マノア) の共同オーナーであるJP LamとTomoki Ito

「バンク・オブ・ハワイは素晴らしい。
常に私たちをサポートしてくれています。
友人にも必ず勧めています。
私にとって最高の銀行です。」

- Tomoki Ito



A photograph of two men standing in front of a restaurant named 'Off The Hook'. The restaurant has a teal-colored exterior wall and a blue corrugated metal roof. The man on the left is wearing a dark blue jacket over a t-shirt and grey shorts, while the man on the right is wearing a dark blue t-shirt and light-colored pants. Both are wearing 'Off The Hook' branded t-shirts. A neon 'OPEN' sign is visible in the window behind them. A bicycle is parked in the foreground on the right. The text '「バンク・オブ・ハワイは地元の人々のためにあるのだと心から思います。」' is overlaid on the image, along with the name '- JP LAM'.

「バンク・オブ・ハワイは
地元の人々のためにある
のだと心から思います。」

- JP LAM

連結損益計算書

バンク・オブ・ハワイ・コーポレーションおよびその子会社(1株当たりの額を除き、千ドル)

12月31日終了年度	2023	2022
受取利息		
貸出金・リース債権利息および手数料	\$ 590,611	\$ 439,798
投資有価証券収益		
売却可能有価証券	93,528	70,555
満期保有分	92,750	81,490
預金	86	32
ファンド貸出金	28,294	4,274
その他	5,106	1,217
受取利息合計	810,375	597,366
支払利息		
預金	250,847	39,678
現先取引売却有価証券	16,306	12,600
ファンド借入金	888	417
短期債務	5,713	2,070
その他負債	39,596	2,043
合計支払利息	313,350	56,808
純受取利息	497,025	540,558
貸倒引当金	9,000	(7,800)
貸倒引当金控除後純受取利息	488,025	548,358
非利息収入		
信託および資産管理	43,597	43,803
住宅金融バンキング	4,255	5,980
預金口座のサービス料金	31,116	29,620
手数料、為替およびその他のサービス料金	55,556	54,914
投資有価証券収益(損失)(純額)	(11,455)	(6,111)
確定年金および保険	4,736	3,782
銀行保有生命保険	11,643	9,968
その他	37,161	15,585
合計非利息収益	176,609	157,541
非利息経費		
給与および諸給付	234,079	235,270
純賃料	39,924	39,441
純設備費	40,251	38,374
データプロセッシング	18,836	18,362
専門家手数料	17,459	14,557
FDIC保険	28,313	6,546
その他	58,656	62,715
合計非利息経費	437,518	415,265
法人所得税引当額控除前収入	227,116	290,634
法人所得税引当額	55,914	64,830
当期純利益	\$ 171,202	\$ 225,804
優先株式配当	7,877	7,877
普通株主に帰属する当期純利益	\$ 163,325	\$ 217,927
基本1株当たり利益	\$ 4.16	\$ 5.50
希薄化後1株当たり利益	\$ 4.14	\$ 5.48
宣言済み1株当たり配当	\$ 2.80	\$ 2.80
基本加重平均普通株式数	39,274,291	39,601,089
希薄化後加重平均普通株式数	39,428,912	39,788,002

連結財務諸表(独立登録会計事務所の報告書を含みます)については、2023年12月31日年終了年度のForm 10-K有価証券報告書に含まれているバンク・オブ・ハワイ年次報告書をご参照ください。

連結貸借対照表

バンク・オブ・ハワイ・コーポレーションおよびその子会社(千ドル)

12月31日現在	2023	2022
資産の部		
他銀行での利付き預金	\$ 2,761	\$ 3,724
ファンド貸出金	690,112	81,364
投資有価証券		
売却可能有価証券	2,408,933	2,844,823
満期保有目的有価証券(評価額:4,253,637ドルおよび4,615,393ドル)	4,997,335	5,414,139
売却目的貸出金	3,124	1,035
貸出金とリース債権	13,965,026	13,646,420
貸倒引当金	(146,403)	(144,439)
貸出金とリース債権(純額)	13,818,623	13,501,981
収益資産合計	21,920,888	21,847,066
現金および預け金	308,071	316,679
動産・不動産(純額)	194,855	206,777
オペレーティングリース使用权資産	86,110	92,307
未収受取利息	66,525	61,002
担保権実行不動産	2,098	1,040
モーゲージサービス権	20,880	22,619
営業権	31,517	31,517
銀行保有生命保険	462,894	453,882
その他資産	639,458	573,988
資産合計	\$ 23,733,296	\$ 23,606,877
負債の部		
預金		
非利付き預金	\$ 6,058,554	\$ 6,714,982
利付き預金	3,749,717	4,232,567
貯蓄	8,189,472	7,962,410
定期	3,057,302	1,705,737
合計預り金	21,055,045	20,615,696
現先取引売却有価証券	150,490	725,490
その他負債	560,190	410,294
オペレーティングリース債務	94,693	100,526
未払退職給付	23,673	26,991
未払利息	41,023	9,698
未払法人税	7,636	7,104
その他負債	386,304	394,083
負債合計	22,319,054	22,289,882
株主資本		
優先株式(額面0.01ドル、授權株式数 180,000株、 発行済/残高:2023年12月31日および2022年12月31日時点 - 180,000株)	180,000	180,000
普通株式(額面0.01ドル、授權株式数 500,000,000株、 発行済/残高:2023年12月31日時点 - 58,755,465株 / 39,753,138株、 2022年12月31日時点 - 58,733,625株 / 39,835,750株)	583	582
資本剰余金	636,422	620,578
累積その他包括的損失	(396,688)	(434,658)
利益剰余金	2,107,569	2,055,912
自己株式の原価(株数:2023年12月31日時点 - 19,002,327株、 2022年12月31日時点 - 18,897,875株)	(1,113,644)	(1,105,419)
株主資本合計	1,414,242	1,316,995
負債及び株主資本合計	\$ 23,733,296	\$ 23,606,877

連結財務諸表(独立登録会計事務所の報告書を含みます)については、2023年12月31日年終了年度の
Form 10-K有価証券報告書に含まれているバンク・オブ・ハワイ年次報告書をご参照ください。

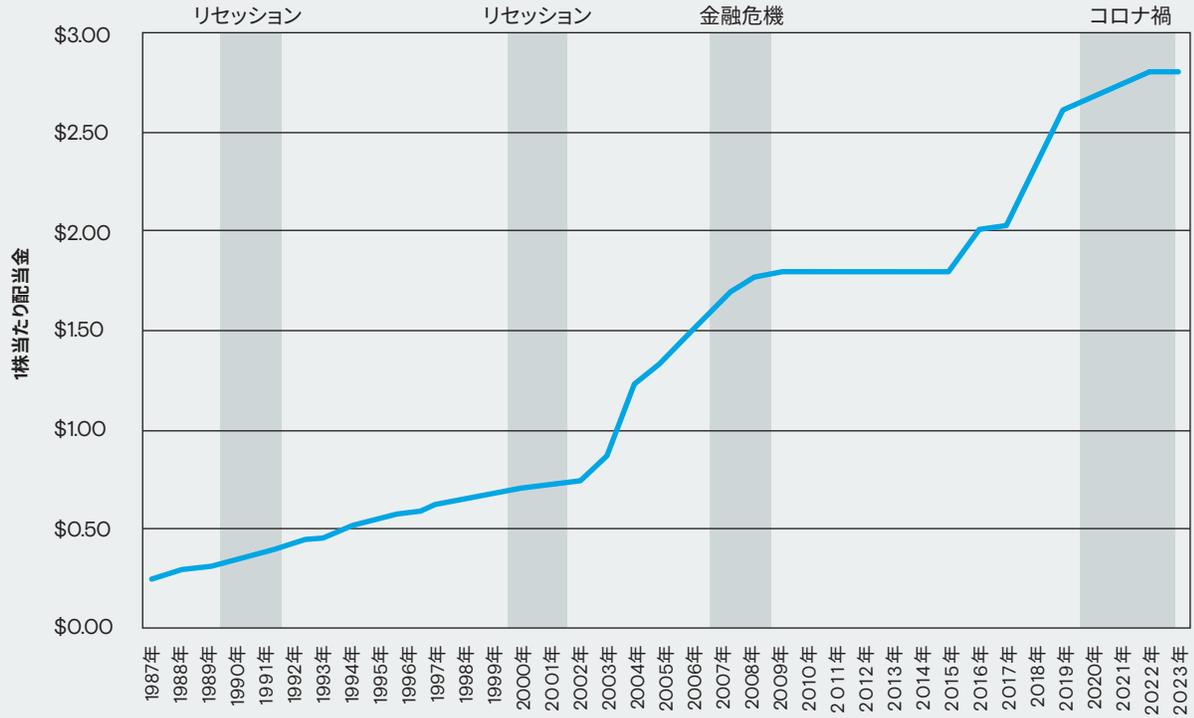
株価の相対的パフォーマンス

バンク・オブ・ハワイ・コーポレーション／バンク・オブ・ハワイ (2023年12月31日現在)



継続的な配当性向

(バンク・オブ・ハワイ・コーポレーション)



注記: 株式分割調整後の配当

エグゼクティブコミッティ バンク・オブ・ハワイ・コーポレーションおよびバンク・オブ・ハワイ

2023年12月31日現在



左から：Dean Y. Shigemura、James C. Polk、Peter S. Ho、Mary E. Sellers



左から：Ruth L. Erickson、Matthew K.M. Emerson、Susan L. Ing、Marco A. Abbruzzese

バンク・オブ・ハワイのエグゼクティブ
コミッティは銀行の主要部門を担当し
ており、その全体的な戦略と業績に
ついて説明責任を負います。

Peter S. Ho
会長、社長兼最高経営責任者

Marco A. Abbruzzese
副会長兼
ウェルスマネジメント担当シニア・
エグゼクティブ・ディレクター

Sharon M. Crofts
副会長兼
オペレーションおよび情報技術担当
シニア・エグゼクティブ・ディレクター

Matthew K.M. Emerson
副会長兼最高戦略責任者

Patrick M. McGuirk
副会長
兼最高管理責任者、法務顧問および
事務部長

James C. Polk
副会長
兼最高バンキング責任者

Mary E. Sellers
副会長兼最高リスク責任者

S. Bradley Shairson
副会長兼副最高リスク責任者

Dean Y. Shigemura
副会長兼最高財務責任者

オペレーティングコミッティ

2023年12月31日現在

バンク・オブ・ハワイのオペレーティングコミッティは、各事業セグメントの企業スタッフ部門を代表する20名のリーダーで構成され、銀行の日々の業務を担当しています。



左から：Sharlene R. Ginoza-Lee、Sharon M. Crofts、Patrick M. McGuirk、Taryn L. Salmon、S. Bradley Shairson

Ruth L. Erickson

シニア・エグゼクティブ・バイスプレジデント兼
マーケティング・オペレーション担当シニア・
エグゼクティブ・ディレクター

Sharlene R. Ginoza-Lee

シニア・エグゼクティブ・バイスプレジデント兼
最高人事責任者

Susan L. Ing

シニア・エグゼクティブ・バイスプレジデント兼
最高マーケティング責任者

Taryn L. Salmon

シニア・エグゼクティブ・バイスプレジデント兼
最高情報責任者

Eric Chen

エグゼクティブ・バイス
プレジデント兼
エンタープライズ・
オペレーション担当
エグゼクティブ・ディレクター

Guy C. Churchill

シニア・エグゼクティブ・
バイスプレジデント、
コマーシャル・バンキング・
グループ共同責任者

Ryan Field

エグゼクティブ・バイス
プレジデント兼
最高情報セキュリティ責任者
およびITリスク管理責任者

Jill F.S. Higa

シニア・エグゼクティブ・
バイスプレジデント兼
支店銀行業務担当シニア・
エグゼクティブ・ディレクター

Torrie M. Inouye

エグゼクティブ・
バイスプレジデント兼
最高データ責任者

Joy Ishiara

シニア・バイス・プレジデント兼
eコマースおよびブランド
マーケティング担当ディレクター

Vance H. Jones

エグゼクティブ・
バイスプレジデント兼
最高テクノロジー責任者

Roger J. Khlopov

エグゼクティブ・
バイスプレジデント兼
最高投資責任者および
投資運用サービス
担当ディレクター

Edward C.S. Kim

エグゼクティブ・
バイスプレジデント兼個人向け
融資業務担当エグゼクティブ・
ディレクター

Jennifer Lam

シニア・エグゼクティブ・
バイスプレジデント兼財務部長

Kimarie Matthews

エグゼクティブ・
バイスプレジデント兼
コンタクト・センターおよび
顧客エンゲージメント担当
エグゼクティブ・ディレクター

James K.M. Moniz

エグゼクティブ・
バイスプレジデント兼
不動産担保貸付業務担当
エグゼクティブ・ディレクター

Lacey Nakaguma

エグゼクティブ・
バイスプレジデント兼
最高監査エグゼクティブ

Shauna M. Pantohan

シニア・バイス・プレジデント兼
文化および従業員エクス
ペリエンス担当ディレクター

Michelle T. Sato

シニア・バイス・プレジデント兼
個人向け商品および
セグメント化担当ディレクター

Kristine R. Stebbins

エグゼクティブ・
バイスプレジデント兼
最高エクスペリエンス責任者

Dana S. Takushi

シニア・エグゼクティブ・
バイスプレジデント兼
プライベートバンク・シニア・
エグゼクティブ・ディレクター

Melissa A. Torres-Laing

シニア・バイス・プレジデント兼
コーポレート・コミュニケー
ション担当ディレクター

Luke W.T. Yeh

シニア・エグゼクティブ・
バイスプレジデント兼
信用リスク分析担当シニア・
エグゼクティブ・ディレクター

Dirk K. Yoshizawa

シニア・エグゼクティブ・
バイスプレジデント、
コマーシャル・バンキング・
グループ共同責任者

取締役会

バンク・オブ・ハワイ・コーポレーションおよびバンク・オブ・ハワイ

2023年12月31日 現在



取締役会、前列左から：John C. Erickson, Barbara J. Tanabe, Peter S. Ho, S. Haunani Apoliona, Raymond P. Vara。

後列左から：Dana M. Tokioka, Victor K. Nichols, Mark A. Burak, Kent T. Lucien, Robert W. Wo, Alicia E. Moy, Elliot K. Mills, Michelle E. Hulst, Joshua D. Feldman, Suzanne P. Vares-Lum。

Peter S. Ho

会長、社長兼最高経営責任者、
バンク・オブ・ハワイ・コーポレーション
およびバンク・オブ・ハワイ

Raymond P. Vara

バンク・オブ・ハワイ・リード独立取締役
社長兼最高経営責任者、
ハワイ・パシフィック・ヘルス

S. Haunani Apoliona

元理事、ハワイ人問題事務局

Mark A. Burak

元エグゼクティブ・バイスプレジデント、
バンク・オブ・アメリカ

John C. Erickson

元副会長、ユニオンバンク

Joshua D. Feldman

社長兼最高経営責任者、
トリ・リチャード・リミテッド

Michelle E. Hulst

社長、
ガムガム

Kent T. Lucien

元副会長
兼最高戦略責任者、
バンク・オブ・ハワイ・コーポレーション
およびバンク・オブ・ハワイ

Elliot K. Mills

副社長、
ディズニールンド・リゾート・アンド・アウラ
ニ、ア・ディズニー®リゾート・アンド・スパ

Alicia E. Moy

社長兼最高経営責任者、
ハワイ・ガス

Victor K. Nichols

元会長兼最高経営責任者、
ハーランド・クラーク・ホールディングス

Barbara J. Tanabe

プリンシパルオーナー、
ホアケア・コミュニケーションズLLC

Dana M. Tokioka

バイスプレジデント、
アトラス・インシュアランス・
エージェンシー・インク

Suzanne P. Vares-Lum

イーストウエストセンター所長

Robert W. Wo

オーナー兼取締役、
C.S.ウー・アンド・サンズ・リミテッド

株主情報

将来の見通しに関する記述

本報告書は、1995年証券民事訴訟改革法に定義する意味における「将来の見通しに関する記述」を含んでいます。それらの記述は、過去または現在の事実と厳密には関連していないという事実により識別可能です。また、それらの記述は特に、当行のサービス地域およびその他の地域において予想される経済環境および事業環境、信用力ならびに将来の期間における財務上および事業上のその他事象、当グループの将来の業績および財政状態、当行の事業戦略および計画、ならびに当行の目標および将来の業務に関する記述を含んでいる可能性があります。また、当行は、米国証券取引委員会（「SEC」）に提出または提供したその他の文書においても将来の見通しに関する記述を行う場合があります。さらに、当行経営陣は、アナリスト、投資家、メディア関係者その他に対して将来の見通しに関する記述を口頭で行う場合があります。将来の見通しに関する記述は様々な前提に基づいています。その中には正確ではないものが含まれている可能性があり、様々なリスクや不確実性があるために実際の結果は見通しと大きく異なる場合があります。そのようなリスクや不確実性には次のものが含まれますがこれに限定されるものではありません。(1) 国内外または地元の経済状況が予想と異なることがあり、特にハワイの観光業にマイナスの影響を及ぼす出来事があり得ます。(2) 新型コロナウイルスの流行による複合的な影響（ハワイへの観光客の減少、政府による命令、旅行に対するその他の制限または制約の期間もしくは範囲、国内外の経済や信用市場の変動、インフレ、労働者の長期欠勤、隔離、その他旅行や健康に関する制限、新型コロナ流行の期間や深刻さ、その後の回復の速度や政府・企業・個人によるコロナ禍の影響軽減措置の効果）。(3) 信用市場や純利鞘を確保できるかどうかといった当行の能力に影響を与えかねない市場金利の変化。(4) 当行の信用力およびリスクプロファイル（これによって信用損失の引き当てに求められる水準が増減することがあります）。(5) 立法上および規制上のイニシアチブ、特に2010年ドッド＝フランク・ウォール街改革・消費者保護法（「ドッド・フランク法」）および2018年経済成長・規制緩和・消費者保護法の影響。(6) 提案済みの普通株式の自社株買いの金額およびタイミングの変更。(7) 米国および海外における証券市場、パブリック債券市場、その他資本市場の予期しない変化、これにはベンチマーク金利であるロンドン・インターバンク金利（LIBOR）の廃止予定が含まれますがこれに限定されるものではありません。(8) 当行が業務展開している市場における金融政策および財政政策の変更。(9) パーゼル銀行監督委員会および米国規制当局が採択した要件に基づき、十分な流動性および資本を維持するためのコストの増加またはそれに向けた当行の能力。(10) 会計標準の変更。(11) 公法115-97（いわゆる減税・雇用法）を含む税法や規制の変更、またはそのような法律や規制の解釈。(12) 当行の運用システム、情報システムまたはインフラ、または販売業者、第三者ベンダーおよびその他のサービスプロバイダーの過失または侵害。(13) 顧客口座管理、総勘定元帳処理、および貸付または預金システムに不具合または混乱を発生させることになる当行の情報システムのセキュリティの中断または侵害。(14) 自然災害、世情不安または悪天候、公衆衛生、感染症の流行、および当行ならびに顧客業務に影響を及ぼすまたはハワイの観光業にマイナスの影響を及ぼすその他の条件。(15) 金融サービスおよび商品に対する市場の競争圧力。(16) 当行の評判を損なうおそれのある実際の行為またはそのような疑いのある行為。(17) 費用、経費、和解、判決を含む当行への訴訟および規制調査の影響。「思う」、「予想する」、「期待する」、「意図する」、「目標とする」などの表現は、将来の見通しに関する記述を特定することを目的としていますが、そのような記述を特定する排他的手段ではありません。読者は、これらのリスクと不確実性を考慮したうえで、将来の見通しに関する記述を実際の結果の予測として過度に信頼すべきではありません。実際の結果が、当行の過去の経験ならびに当行の予想および予測と大きく異なる原因となりうるリスクや不確実性としては、当行の最新の年次報告書（Form 10-K）の項目1A「リスク要因」、項目7「経営陣による財政状態および経営成績の検討および分析」ならびにその他の箇所、および当行がその後SECに提出する書類のいずれかの箇所に記載したものを含みますがそれらに限りません。さらに、いかなる将来の見通しに関する記述も作成日時時点のものに過ぎず、当行は連邦証券法上要請される場合を除き、記述作成日以降の事象や状況を反映し、または予期せぬ事象の発生を反映して将来の見通しに関する記述を更新または修正する義務を負いません。

本社

バンク・オブ・ハワイ・コーポレーション
130 Merchant Street
Honolulu, Hawaii 96813

定時総会

定時株主総会は2024年4月26日（金）午前8時30分（ハワイ標準時間）に開催します。オンライン定時総会へのアクセス情報は、当行の2024年委任状フォームに記載されています。

名義書換代理人および登録代理人

Computershare Investor Services, LLC
150 Royall Street, Suite 101, Canton, MA 02021

ニューヨーク証券取引所で上場されている
普通株式：BOH

バンク・オブ・ハワイ・コーポレーションの普通株式は、ニューヨーク証券取引所（ティッカー：BOH）に上場・取引されています。また、主な金融ニュースでは、通常「バンク・オブ・ハワイ」と呼ばれています。

配当金再投資および株式購入制度（DRP）

バンク・オブ・ハワイ・コーポレーションのDRPにより、既存株主は、株式の配当金を再投資、または、選択性の現金支払いにより、当行株式の普通株式を購入することができます。

個人がDRPに参加するためには、最低1株の株式を保有する必要があります。

株式は、購入日を最終日とする5取引日の平均に基づいて各月の10営業日目に購入されます。

株式購入の最低支払金額は25ドル、最高金額は四半期当たり5,000ドルです。

株式の購入および株券の保護預かりについて、手数料は発生しません。手数料はDRPの株式の売却により評価されます。

バンク・オブ・ハワイ・コーポレーションのDRPに関する詳細は、www.boh.com、またはComputershare Investor Services LLCに電話（1-888-660-5443）することで入手できます。

問い合わせ

株式譲渡サービス、保有または配当金の再投資に関してご質問がある株主は、Computershare Investor Services LLCに電話（1-888-660-5443）でお問い合わせください。受付時間は、米国中部標準時午前7時から午後5時までです。

財務情報についての質問がある投資家およびアナリストは、

Chang Park（インバスターズリレーションズ・マネージャー）、電話：1-808-694-8238）にお問い合わせください。

一般的なお問い合わせについては、

電話（1-888-643-3888）
またはwww.boh.comにお問い合わせください。

バンク・オブ・ハワイ・コーポレーションは、ハワイおよび西太平洋地域の企業、消費者、政府にサービスを提供する独立した地域金融サービス会社です。同社の主要子会社であるバンク・オブ・ハワイは、1897年に設立されました。バンク・オブ・ハワイ・コーポレーションの詳細については、同社ウェブサイトwww.boh.comをご覧ください。



バンク・オブ・ハワイ・コーポレーション
P.O. BOX 2900
HONOLULU, HAWAII 96846

(10) 当行の会長、お客様、コミュニティ、行員についての
特集動画を含むバンク・オブ・ハワイの
2023年年次報告書デジタルサマリーをご用意しました。
www.boh.com/annual-reportにて
ご覧いただけます。